

台風(第18号)に備え、品質低下を防止しましょう!

- 気象庁の予報によると、台風第 18 号は 17 日(日)以降新潟県に近づく見込みです。
- 水稻はコシヒカリを中心とした中生品種の収穫期を迎えることから、台風対策を実施し、被害軽減に努めましょう。

1 事前対策

- 未収穫ほ場では、停滞水を迅速に排除するため、早急に排水路を点検・整備する。
- 倒伏したコシヒカリで収穫期を迎えたほ場は、穂発芽等による品質低下を防止するため晴れ間を逃さず、すみやかに収穫する。

2 事後対策

- 大雨や強風により倒伏が進んだ場合には、すみやかに排水に努めるとともに、品質低下を防止するため早めに収穫する。
- 高水分籾(特に倒伏したイネ)は水分のバラツキが大きいので、乾燥途中(水分 18 ~ 20 %程度)で一旦停止し、半日程度貯留し水分ムラを解消した後、再乾燥で仕上げる。乾燥機に二段乾燥機能や休止乾燥機能が備わっている場合は、それらを活用する。
- 成熟期を迎えている品種でフェーン現象による極度の乾燥に遭遇した場合にはすみやかに刈り取り、乾燥機の送風温度を通常より低めとする等、ゆっくりと乾燥する設定とし胴割粒の発生を抑える。

- 体調不良時等の事態に備え、携帯電話を所持しましょう。
- 豪雨や暴風時には、用排水路等の危険箇所近づかないようにしましょう。